

# 第3回 ググっとぐんまの地酒祭り

上毛三山（赤城、榛名、妙義）から湧き出る清冽な伏流水が育む群馬の地酒。そんな銘酒の数々を一堂に集めた「第3回 ググっとぐんまの地酒祭り」が、5月14日の夜6時半から、東京文京区の椿山荘で開催され、およそ300名の日本酒ファンが、ビュッフェスタイルのディナーとともに、上州の酒文化の粋を楽しみました（後援＝群馬県、上毛新聞社 ほか／参加費 6000 円）。



## 日本酒ファン300人が「お酒も、料理も、蔵元との歓談も」大満足の一夜



群馬の食材をふんだんに使った豪華なメニュー



蔵元とのコミュニケーションも盛り上がりしました。

お酒は各蔵の杜氏が精魂込めた銘酒ぞろい



# 「蔵元さんからお酒のこと、たくさん教えてもらいました。来てよかった」



「春の酒は延命の酒。今夜は各蔵元自慢の日本酒が所狭しと集まった。今いちばん面白い群馬の酒を飲み交わし、地酒談義を楽しんでください」（県酒造組合の柳澤光雄会長の挨拶）－東京の日本酒ファンに上州の酒をアピールしようと、2011年からスタートした「ぐんまの地酒祭り」。3回目を迎えた今回も、蔵元20社がブースを並べた会場では、各社の担当者が心をこめて来場者サービス。「蔵元さんにお酒のことをたくさん教えてもらいました。料理もおいしかったし、来てよかった」と、“日本酒初心者”の女性もナットクのイベントとなりました。



柳澤会長



◀ 司会は群馬県出身のお笑いコンビ・アンカンミンカンの2人



▶ 群馬県が開発したオリジナル酒造好適米「舞風」で醸したお酒を集めたコーナーも人気。



▲ 群馬県・吉川副知事の発声で、高らかに「上州地酒で乾杯！」



▲ 日本酒は安全。科学データを使って言われなき風評被害を払拭。



▶ 気に入った銘柄は、デジカメでばっちり記録

◀ 飲み疲れたら「和らぎ水」で小休止。

